

サルの苑タイムズ

地域伝統の新高尾文化祭に参加

地域交流推進の一環で

地域の伝統行事・新高尾地区文化祭（しんたかお祭り）が11月1日〜3日までの三日間、新高尾小体育館で開催され、高崎市の苑も町内法人会員（日高第二）としてまた、地域交流推進の一環で参加させて頂きました。

このうち1日の芸能発表の部では、花の苑ウク



レバンド「タンポポ」がウクレレ弾き語りで出演した他、2日、3日に



行われた作品展示の部では、塗り絵、書道などの作品28点（27名）が展示され、地域関係者との触

令和7年11月15日発行
第134号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL: 027-329-7211
社会福祉法人健康生会
特別養護老人ホーム
高崎市の苑広報委員会

ユニット短信



●『新米のおむすび』
GSユニットのおやつレクではこのほど、新米のおむすび二種と豚汁を作り皆様に召し上がって頂きました。

おむすびは塩と味噌の二種で、炊きたての新米を鈴木様、井上様のベテラン元主婦のお二人に握ってもらいました。その



脇では出来上がりソワソワした様子で待つ箱田様、矢畑様の男性陣。出来立てのおむすびと豚汁のセットはとてもシンプルで贅沢な一品でした。



●『職員二名が力走』
過日開催の「ぐんまマラソン」に高崎市の苑職員二名が出場し、秋の上州路を駆け抜けました。フルマラソンには、ラン

ナーとして数々の実績を持つ山本遼太職員が2時間46分45秒という好タイムで見事51位の成績。この他、リバーサイドコース（約4・2キロ）に下田弘職員が初挑戦。「今後フルを目指して頑張ります」と語り周囲から期待の声が上がりました。



れ合いを通じ、絆を深めることができました。

ハロウィンで仮装行事を 2号館Dユニットで

Dユニットでは十月行事の中で恒例の仮装行事を実施しハロウィンを楽しみました。今年は可愛いテレサの被りものや光るカチューシャ等の他、新しく準備した小物たちを用意し、職員も一緒に身に着けて記念撮影を。

仮装では村上繁康様が光るかぼちやのカチューシャを身に着けた他、松本昌子様はカボチャのスベツキを持ち魔法をかけ



●『秋のショッピング』
BCユニットでは反町ナヲ江様、横堀キクエ様、須藤照子様が職員と共にイオンモールへ買い物に外出。反町様は靴下三着、横堀様はカーディガン、須藤様はズボンを購入。ぶらり散策を楽しんだ後、スーパーでまたまた買い物。チョコ、牛乳、柿の種、プリン、梅干し

等々それぞれお好きな物を購入。久しぶりの買い物存分に満喫された様子でした。



11月11日は「介護の日」 平成20年厚生労働省制定

ユニットたより

「パン食い競争に闘志」

A Sユニットでは、ようやく訪れた秋を感じながら、日頃の運動不足解消のため毎年恒例の運動会を行いました。

種目は体操、玉入れ、バトンリレー、パン食い競争。赤白団に分かれ、赤団代表は今年百歳になられた伊藤シズエ様、白団は只木榮一様でそれぞれ熱い挨拶を行った後、競技がスタート。

玉入れは一人三個玉を持ちスタートの合図を待つルールですが、合図の声が聞こえたのか聞こえなかったのかフライングが続出。結果オーライとし同点に。続くバトンリレーも熱戦の末、同着ゴールとなりました。



最後は皆さんお得意のパン食い競争。皆競技前から闘志みなぎらせていました。中でも渡邊、高橋のフミエ様同名対決、おとりの吉田正美様、只木榮一様の男性対決は圧巻の盛り上がりで、軍配は渡邊様、吉田様の勝利に。でも、皆様の関心は勝敗よりもパンに向いている様子でした。

(A・Sユニット U)

「百歳の選手宣誓」

B Cユニットの10月秋行事は運動会イベントを行い、利用者様同士のコ



秋の運動会イベントを開催 季節を感じながら競技に奮闘

ミニユニケーションを図りました。

昨年同様会場内に万国旗を飾り、雰囲気作りを。競技はユニット対抗戦の玉入れと個人戦のペットボトルボウリングの2種目。今年百歳になられた反町ナヲ江様の選手宣誓により開会。

玉入れは輪になって頂き、中央のカゴにお手玉を投げ入れて行いました。皆さん一生懸命に狙いを定め「それぞれー！」と気合を込めて大盛り上



がり。結果は僅差でCユニットの勝利となりました。

続いてのペットボトルボウリングでは、事前に募った八名が参加。このうち間庭様はストライクを出す大活躍で「全部倒れたよー」と大変喜ばれ、皆様から歓声が起こっていました。

(B・Cユニット N)

「手作り金メダル授与」

E Fユニットでは昨年同様、秋の運動会を開催開始前、会場のフロアに皆様が白組、紅組のハチマキ姿で勢揃い。気合十分な方がいる一方、どこか緊張した不安げな方もいました。

最初はボウリング競技。職員が競技の説明をする、小坂橋様は若い頃、マイボールと靴を持ってボウリング場に通っていたと嬉しそうに話されていました。競技はボウリングのピンが倒れるたび大きな歓声上がる

最初、職員が競技の説明をする、小坂橋様は若い頃、マイボールと靴を持ってボウリング場に通っていたと嬉しそうに話されていました。競技はボウリングのピンが倒れるたび大きな歓声上がる



大盛り上がりで結果は紅組の勝利でした。

次の競技は風船渡し。うちわで風船を隣の方に渡す競技で白熱戦の末、白組が勝利を飾りました。最後は玉入れ競技。それぞれ与えられた持ち玉を杉山様は百発百中。小坂橋様は自分の持ち玉を入れ、他の方の分も手助けする大奮闘ぶり。

総合優勝に輝いた白組には職員が手作りした金メダルを授与。二位の紅組には銀メダルを。皆様嬉しそうに首に下げ笑顔で喜んでおられました。

(E・Fユニット K)



委員の一言メモ

★ウオーキングコースの大塩湖が半分以下の濁水で大ピンチに。皆さん水を大切に(由)★回転ずしの広告が目に残り、旬のカツオ、サンマ、イワシなどを堪能してきました(努)★秋といえは運動会。運動が苦手な私は競技よりお弁当が楽しみでした(彩)★一段と冷え込み、急いでホットカーペットを。温かくそこで寝落ちする始末に後悔(広)★急に寒くなり、私にとって朝起きるのに勇気がある季節到来です(山)★マラソンや駅伝の季節。ぐんまマラソンの看板を見て、今年も残りわずかなあと感じます(貴)★運動会は皆様の元気な動きに写真撮影も一苦労。にもかかわらず良い写真がたくさん撮れていました。選ぶのにも一苦労(美)★駆け足で通り抜けた感の今年の秋。今号花タイでは運動会、地域文化祭、ハロウィン、マラソン等々秋の季節行事を紙面に(井)